

ZERO PLUS TIMES



月間広報紙ゼロプラスタイムスの記念すべき第一号です。
ドーブリ・デーニ!デザイナーのディアナです。最近入社したんですが、
『ゼロプラスって何してる会社ですか?』て正直思ってるんで教えてください!

まいど!本社コンサルタントの永利です。
ゼロプラスは、中小製造・卸売業に特化した経営コンサルティング会社やで。
ロボットSlerや機械商社等3つのグループ会社と連携しながら、中小企業が直面
するあらゆるお悩みを解決してるんや!!



【ゼロプラス組織図】



会社紹介動画



すごい!中小企業のかかりつけ医って感じですね。
もっとゼロプラスについて広報誌を通して知りたくなりました!
ところでなんで広報誌を作ったんですか?経緯を教えてください。

ええこと聞いてくれた!!広報誌は、日々市場が変化している中、もっと中小企業の為に
たくさんの役立つ情報を共有したいと思い創刊することになったんやで。早速、
今話題の脱炭素について最新トピックを発信していくで!!



今月の脱炭素トピック!

・日本政策金融公庫の2023年の脱炭素への取組に関する調査によると、脱炭素の取組が進んでいる企業ほど業況が良い!

・脱炭素の取組の進捗状況別に、業況が「良い」企業の割合を見ると、「大いに進んでいる」は28.5%、「進んでいる」は25.6%、「どちらともいえない」は7.9%と回答。

・ゼロプラスも脱炭素に積極的に取り組んでいます!詳細は裏面に→

図-11 進捗状況別の業況(取り組み全体)

(単位:%)

	良い	やや良い	やや悪い	悪い
大いに進んでいる (n=63)	28.5	31.4	15.6	24.4
やや進んでいる (n=178)	25.6	42.8	22.4	9.2
どちらともいえない (n=713)	7.9	36.1	39.6	16.5
あまり進んでいない (n=350)	6.4	32.2	38.2	23.2
まったく進んでいない (n=362)	7.7	25.1	33.4	33.8

第3回 脱炭素経営 EXPO 関西

企業が変わる。世界が変わる。

会期: 2023年 11月15日(水) — 17日(金) 10:00-17:00 会場: インテックス大阪 主催: RX Japan株式会社

出展展示会: 脱炭素経営EXPO[関西]

(主催 RX Japan(株))

日時: 2023年11月15日(水)~17日(金)

10:00~17:00

場所: インテックス大阪

小間番号: SC6-12



インテックス大阪にて11月15日(水)より開催される脱炭素経営EXPOに弊社ブースを出展します。弊社ブースでは、中小製造業企業が初めての脱炭素に取り組む上で必要なことを0からマンツーマンでご説明します。1日5回開催する弊社ブース内セミナーでは、脱炭素経営、脱炭素の国際認証SBT、CO2排出量の可視化、補助金について分かりやすくご説明します。本展示会への来場を機に、脱炭素経営の第一歩を踏み出しませんか？

ゼロプラスタイムス創刊

ゼロプラスという社名は、お客様の目標とする売上や利益に0を1桁プラスする(例えば売上高1億円⇒10億円)お手伝いがしたい、という意味です。その由来は、会社員時代の営業経験からです。あるとき、ふと「目標の倍売れないか?」と思いました。いろいろ考え営業のやり方を大幅に変えました。その結果、予算額が少なかったこともあり、目標の10倍ぐらい売れました。このとき「できると思って真剣にやればできる可能性がある!」「無理だと思った時点で未達成!」なんだと思いました。前期比10%増のような積み上げ目標の場合、既存のやり方の改良で臨み、そこそこの成果が上がります。しかし目標を2倍とかにすると、全面的にやり方を変えないと達成できません。このときの経験は人生の大きな転機でした。「10倍を真剣に目指す!」この想いを社名にこめて、当社はお客様がゼロプラスしてもらえるサービスを提供し続けるパートナーでありたいと考えています。



(株)ゼロプラス 大場 正樹

脱炭素事業 始めました!

ゼロプラスは、新たな事業の柱として、脱炭素事業部を発足しました。SDGsへの取組を率先してを進めていくとともに、お客様のSDGsへの取組に対して最大限の支援出来るようサービスを拡充して参ります。



新型プリウスPHEVを導入!



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

中小企業版SBT支援サービス

脱炭素への取組で必須となる、SBT(Science Based Targets)の中小企業版の取得支援サービスを開始。



CO2モニタリング
サービス ゼロモニ

脱炭素への取組では、自社のCO2排出量を把握/集計する必要があります。その集計システムと手間のかかる入力代行の支援サービスを開始。



「CO2比較.com」



脱炭素への取組と情報発信先として、ポータルサイト「CO2比較.com」を運用開始。



株式会社 ゼロプラス
ZEROPLUS Co., Ltd